

臨床研究 「ヒト免疫不全ウイルス（HIV）感染者における C型肝炎ウイルス感染症の予後因子に関する研究」 研究協力についてのお願い

名古屋大学医学部附属病院消化器内科では東京大学医学部附属病院感染症内科を主たる研究機関として他の6施設との共同で標題の臨床研究を実施しております。

本研究に関する問い合わせまたは、この研究への参加を希望されない場合は「不同意確認書」に記名して頂くこととなりますので、下記までご連絡ください。不同意の場合でも、診療上であなたが不利益を受けることは一切ありません。なお、提出期限は平成27年5月20日までと致します。（それ以降のお申し出の場合でも可能な限り対応致します）

本研究の概要は以下の通りです。

① 研究対象

平成16年に行った臨床研究「ヒト免疫不全ウイルス（HIV）感染者におけるC型肝炎ウイルス感染症の疫学研究」の対象となった方

② 研究の意義・目的・方法

平成16年に行った調査でこうした方の多くがHIVに対する治療（抗レトロウイルス療法：HAART）を受けており、HIV感染症のコントロールは良好であることがわかりましたがHCVに対する治療は不十分であることがわかりました。このため肝機能が悪化する方や肝がんを合併する方がおられます。本研究では、HCVやHIVの治療が肝機能に及ぼす影響を明らかにすることを目的とします。具体的には、上記の対象となった方についてその後の変化（体調・血液検査・HIV/HCVの状態・合併症・HIV/HCVに対する治療）などをカルテで調査します。調査の結果は他の6施設の結果と一緒に解析を行いますが、解析に先立って皆さんの氏名、生年月日は連結不可能匿名化（どの情報が誰のものかわからなくすること）を行います。解析した結果は厚生労働省に報告すると共に、学会、学術誌に発表する予定ですが、この際に個人が特定されることは一切ありません。なお、この研究に御協力頂くにあたってあなたへの謝金はありません。

- ③ 研究機関名・研究責任者 名古屋大学医学部 消化器内科 教授 後藤 秀実
研究者分担者 名古屋大学医学部 消化器内科 助教 本多 隆
共同研究者 東京大学感染症内科 診療科長 四柳 宏

④ 保有する個人情報に関する利用目的

HIV感染者におけるC型肝炎の経過を明らかにするための研究

⑤ 保有する個人情報の開示手続き

あなた個人の情報に関してはお申し出があれば診療の中で説明が可能です。また、全体の検査結果については研究終了後に開示が可能です。

⑥ 保有する個人情報の問い合わせ・苦情等の連絡先

国立大学法人名古屋大学 医学部・医学研究科 総務課

〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町65

(連絡先：052-744-1901)